

市川橋遺跡

城南土地区画整理事業に伴う発掘調査略報-3

多賀城市教育委員会
多賀城市城南土地区画整理組合

1.はじめに

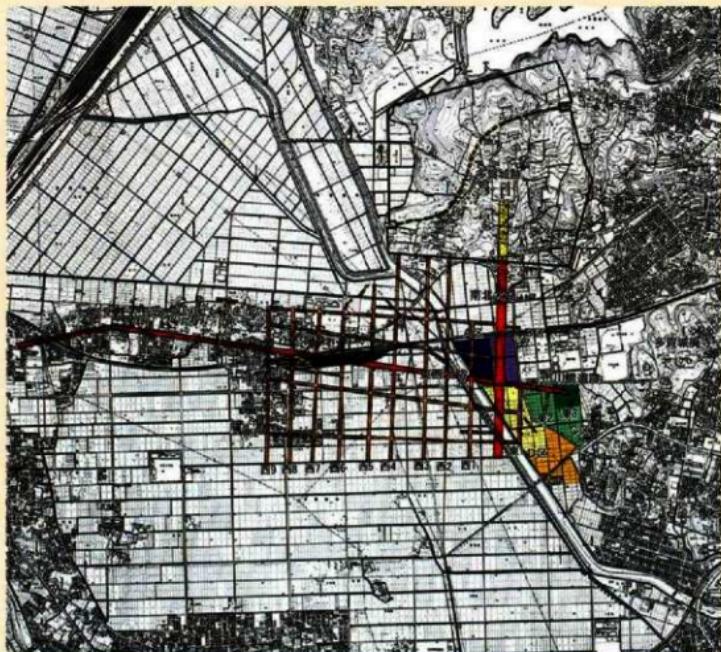
市川橋遺跡は特別史跡多賀城跡の西面から南面に位置する広大な遺跡である。これまでの調査で多賀城城外には「南北大路」と「東西大路」を基準とする方格地割りが施工されていたことが明らかとなっている。東西大路に面した区画からは、高級官僚の邸宅が、そこから離れた場所には、中・下級役人の住まいなどが設けられ、階級による宅地の選定が行われていたと考えられる。また、様々な祭祀や仏教儀式が執り行われていたことも確認されるなど、古代都市を構成する要素が次第に明らかになりつつある。

今回の調査は、城南土地区画整理事業に伴う発掘調査の3ヵ年目にあたる。昨年度は北西ブロック（A区）東半部と南東ブロック（C区）南半部を調査し、南北大路にかかる橋の橋脚や南北大路と東西大路の交差点などの遺構を発見した。今年度の調査区は、北西ブロック（A区）西半部と南東ブロック（C区）北半部、南西ブロック（D区）南半部で、調査面積はA区が約6,400m²、C区が約5,500m²、D区が約5,100m²である。

2.発見した遺構

A区の調査成果

A区では、古代都市多賀城の二大幹線道路である「南北大路」と「東西大路」を調査し、9世紀後半頃の大規模な水害の痕跡を確認した。また、掘立柱建物、竪穴住居、井戸、溝、土壌、河川を発見した。



第1図 城外の方格地割りと調査区の位置

[2・85トレンチ]

南北大路について調査し、4時期の変遷を確認した。また、9世紀後半頃に側溝や路面を削るような大規模な水害の痕跡も発見した。遺物は、多量の土器類のほか、灰釉陶器、人面墨書土器、墨書土器、木簡、木製品（折敷・簾串）、鉄鉗などが出土した。



南北大路（南より）

[66トレンチ]

南北大路と東西大路の交差点付近について調査を行い、南北大路は7時期の変遷が、東西大路は5時期の変遷があることを確認した。また、このトレンチにおいても9世紀後半頃、水害により被害を受けていたことが判明した。

遺物は、土師器、須恵器など多量の土器類のほか、墨書土器、木簡、金属製品（鞘尾金具・刀子・鉄鎌）、皇朝十二錢の一つである「承和昌寶」などが出土した。

水害以前の道路側溝は、計画的に排水できるように作られていた。だが、水害以後は路面も大きく東側に移動し、方向も東側に偏る。このように災害以前と以後では大路に大きな変化が生じたことがわかった。



東西大路と南北大路の交差点
(南東より)

[4トレンチ]

掘立柱建物、鍛冶工房、井戸、溝、古墳時代から平安時代の河川を発見した。遺物は、土師器、須恵器のほか、人面墨書き土器、墨書き土器、木製品（曲物・人形）などが出土した。



井 戸

[9・97トレンチ]

掘立柱建物、井戸、溝を発見した。ここでは特に南北に2棟並んだ大型の南北棟建物の発見があった。そのうち南側の1棟は、桁行6間以上、梁行2間、柱穴は一辺1.2～1.5mの規模である。中には柱が残っているものもあり、その直径は約30cmである。



トレンチ全景（南より）

中央に見えるのが大型南北棟建物。



井 戸

井戸内から、高さ約59cmの甕が出土した。

[42トレンチ]

北1東西道路、古墳時代から平安時代にかけての河川を発見した。遺物は、土師器、須恵器などの土器類のほか、人面墨書き土器、墨書き土器、卜骨、木製品（櫛・皿）、金属製品（鉄鎌）などが出土した。



北1東西道路（西より）



河川土層堆積状況（北より）

[81トレンチ]

据立柱建物、溝、土壙、小溝群を発見した。遺物は、土師器、須恵器などの土器類、緑釉陶器（緑釉緑彩）、墨書き土器などが出土した。遺構、遺物の年代は8世紀末から9世紀代にかけてのものである。



トレンチ全景（南より）



据立柱建物
柱穴に土器が埋められていた。

[98トレンチ]

桁行7間（約17.9m）、梁行3間（約6.3m）の掘立柱建物を発見した。この建物の北約15.0mでは、東西柱筋を揃えて同規模と考えられる建物の一部を発見している。



大型建物 2
S : 1/500



大型建物 1

第2図 大型建物1・2模式図

[82トレンチ]

西1南北道路、掘立柱建物、竪穴住居、井戸を発見した。



大型建物 1（南より）



西1南北道路（北より）



大型建物 2 の一部（北より）



大型建物 2 の柱穴断面

柱穴内には、直径約35cmの柱材が残っていた。

C区の調査成果

C区では、東西大路、古代の道路、掘立柱建物、竪穴住居、井戸、溝、土壌、河川を発見した。東西大路は南北大路との交差点から約300メートル東側まで直線的に延びていることを確認した。

[78トレンチ]

発見した道路は東西大路と東3南北道路で、東西大路は東端部付近と見られる。掘立柱建物は十数棟発見し、憩柱の倉庫も確認した。井戸は側板を伴い中から多くの木製品が出土した。



東西大路（西より）
約35mにわたって確認した。



掘立柱建物（南より）

[79トレンチ]

掘立柱建物、竪穴住居、溝を発見した。住居は火災により焼失したものと考えられる。



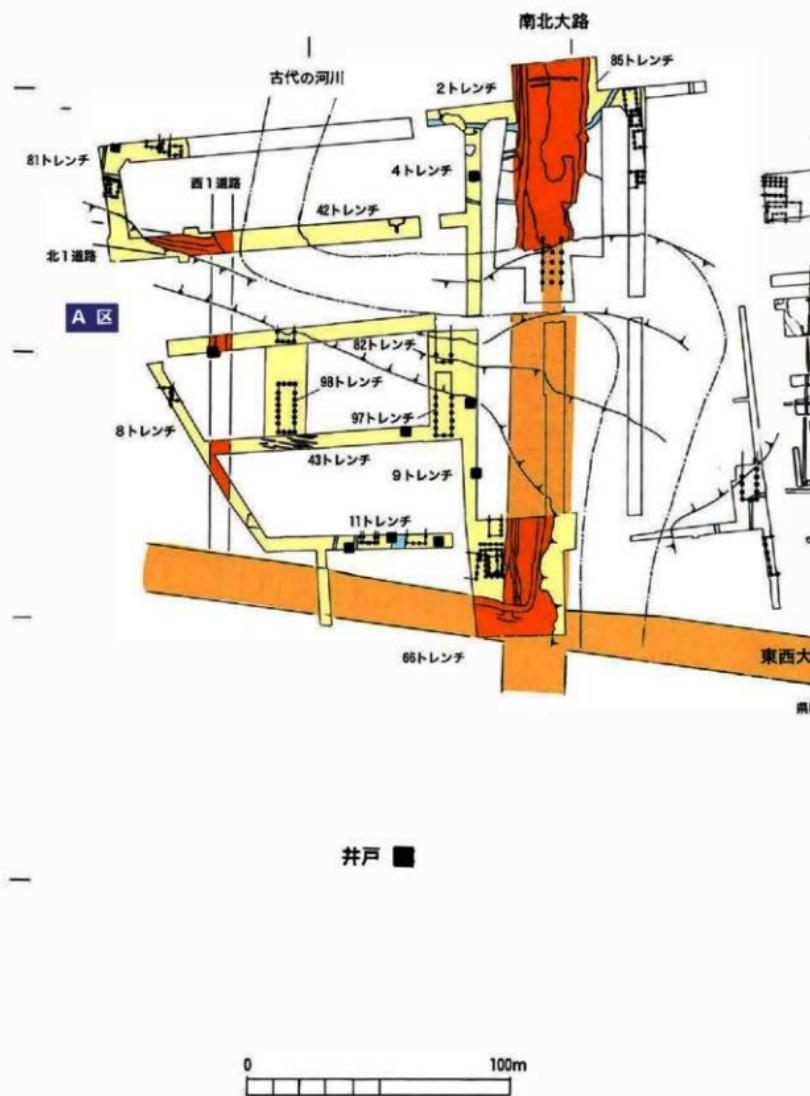
トレンチ全景（東より）

[84トレンチ]

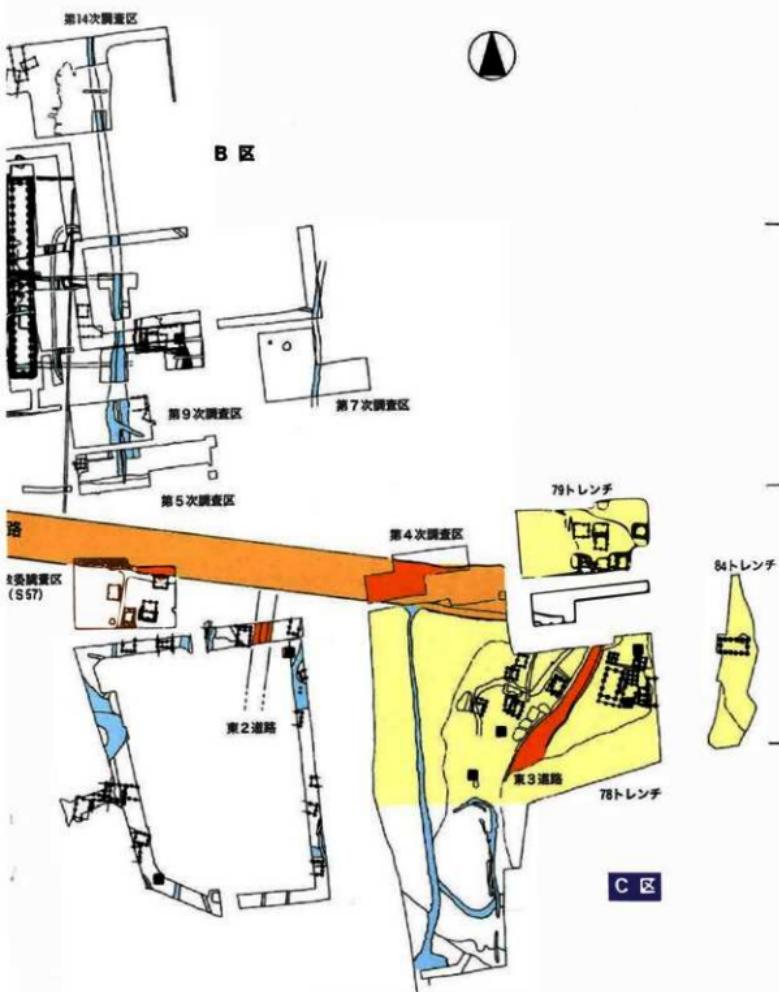
桁行5間、奥行2間の東西棟建物を発見した。この建物の発見により、これより東側に東西大路は直線的に延びていかないと判明した。



掘立柱建物（東より）



第3図 調査区及び周辺



辺の遺構配置図（模式）

D区の調査成果

今年度は、D区南半部に関して調査を行い、掘立柱建物、井戸、溝、土壙、河川、水路を発見した。

[91トレンチ]

溝、土壙、河川を発見した。遺物は、土器類のほか、木簡、木製品（曲物・櫛・刀子形・斎串）などが出土した。また、下層から古墳時代前期の河川と水路を発見した。



古墳時代前期の河川と水路

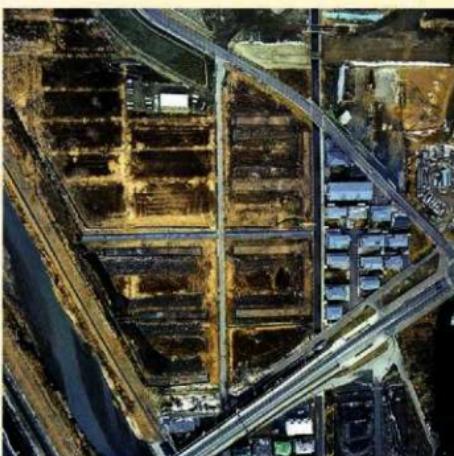


古墳時代前期の水路（南より）

[その他のトレンチ]

掘立柱建物、井戸、溝、土壙などの遺構を発見した。

この地域では、湿地が認められ、古代においては、居住域としては積極的に利用されていなかったと考えられる。



D区南側全景

3. 発見した遺物

各トレンチから土器類をはじめとした多種多様の遺物が出土している。緑釉緑彩陶器、灰釉陶器、木簡・墨書き土器などの文字資料、人形、畜串・人面墨書き土器などの祭祀遺物、鞘尾金具、刀子・鉄鏃・鉄鉗・古銭（承和昌寶）などの金属製品が出土している。



緑釉陶器

(左2点が緑釉緑彩陶器)

灰釉陶器

S : 1/5

・今年度も文字資料である木簡や墨書き土器を多く発見した。その中には、記号や絵などを描いたものがある。



出土した墨書き土器の中には、
ユニークなものも含まれていた。

墨書き土器 (1)



各調査区から出土した墨書き土器



「大」



「相」



「田」



「大」(漆書)



「真」



「酒」



「莖」



「生」



「盛」



「太申」



「舍人」



「丈丈」



「不明」



「●」
墨書土器 (2)



「因」



(44) × 25 × 2 0.9

(66トレンチ出土) S : 1/2

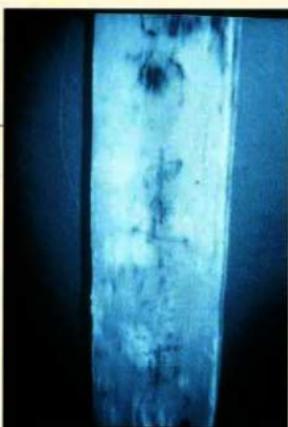
「伊良郡小川里公麻」
〔表〕



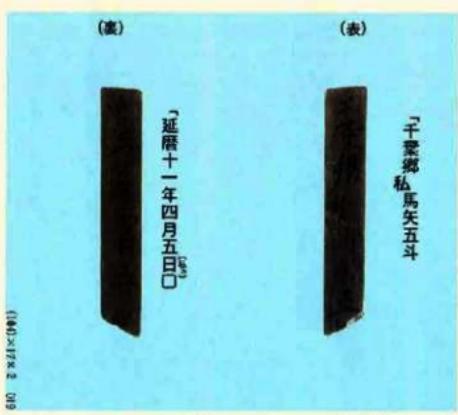
65×22×7 0.1

(85トレンチ出土)

「鎌倉國解
中道上兵士事
合口人
刑部子立
五日 文ママ竹万」



(赤外線写真)



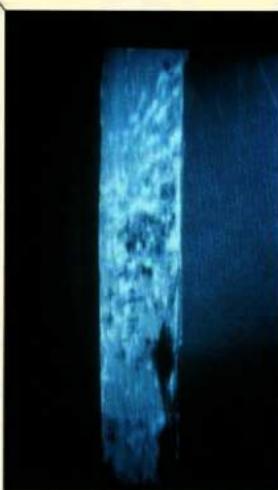
(46) × 17 × 2 0.9

「延暦十一年四月五日」
〔裏〕

S : 1/2 (9トレンチ出土) S : 1/2

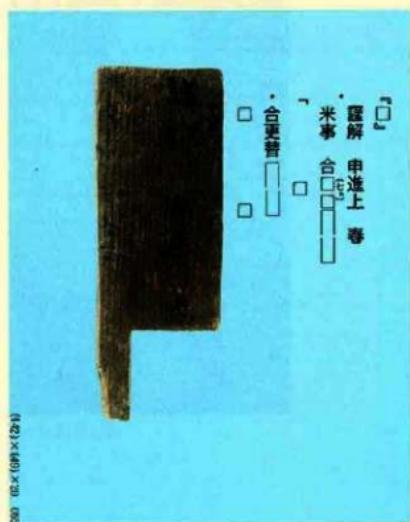


「千葉郡私馬失五斗」
〔表〕



(赤外線写真)

木簡 (1)

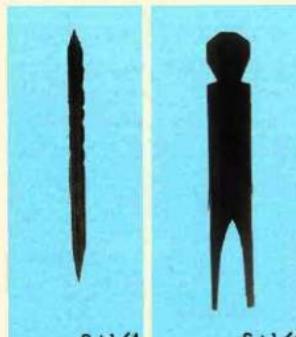


(3点とも66トレンチ出土)

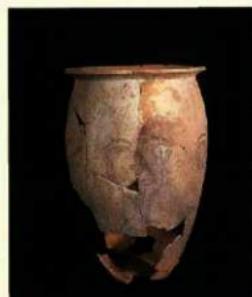
S : 1/2

木簡 (2)

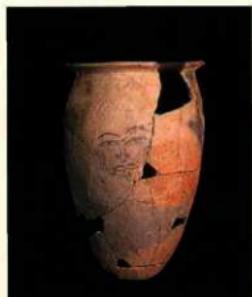
○まじないに使用した遺物



薬串 (81トレンチ出土) 人形 (81トレンチ出土)



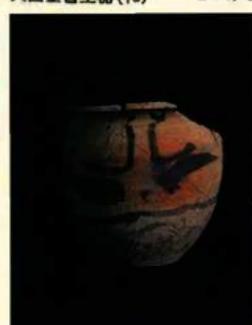
人面墨書き土器 (1a) S : 1/8



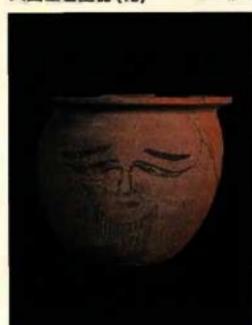
人面墨書き土器 (1b) S : 1/8



刀子形 (91トレンチ出土)



人面墨書き土器 (2) S : 1/4



人面墨書き土器 (3) S : 1/4

・左2点の人面墨書きは、同じ土器甕の四面に顔が描かれていたうちの二面である。

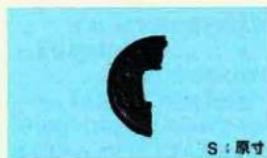
○金属製品



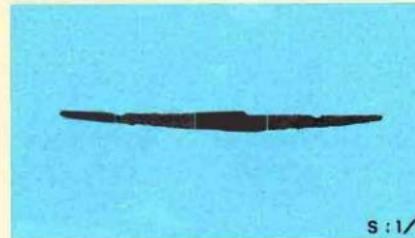
鞘尾金具 (黒色漆) (66トレンチ出土)



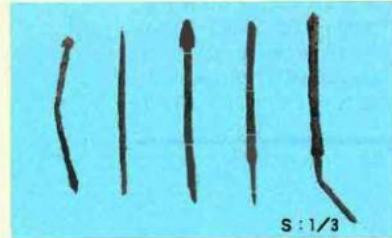
鞘尾金具 (鍍金) (66トレンチ出土)



承和昌賣 (生前十二歳のうちの一つ) (66トレンチ出土)



刀子 (66トレンチ出土)



鉄職 (66トレンチ出土)

今回の調査で、報告書作成に至っては、宮城県文化財保護課、宮城県多賀城跡調査研究所、東北歴史博物館、多賀城市城南土地区画整理組合、大木建設㈱から、ご指導、ご協力を賜った。また、本簡については平川南氏（国立歴史民俗博物館）に判読していただき、古尾谷知浩氏（名古屋大学）に協力いただいた。

本書の執筆・編集は当センター職員の協力を得て、高橋圭藏が行つた。

多賀城市文化財調査報告書第64集

市川橋遺跡

一城南土地区画整理事業に伴う

発掘調査略報 3 -

平成13年3月27日 発行

編集 多賀城市埋蔵文化財調査センター

多賀城市中央二丁目27番1号

電話 (022) 368-0134

発行 多賀城市教育委員会

多賀城市中央二丁目1番1号

電話 (022) 368-1141

印刷 今野印刷株式会社

仙台市若林区六丁の目西町4-5

電話 (022) 288-6123

